

今月の題字



熊野第四小学校6年生
池田 紗月さん

四年
南島 大誉さん

麦



熊野第四小学校 2年 川岡 誠翔さん

【評】たまごの中から海の仲間たちが飛び出して楽しそうです。たまごの向き、魚たちの姿、タンポポでの色のつけ方を工夫することができました。

熊野第四小学校 4年 南島 大誉さん

【評】筆使いがとても丁寧です。2つの左払いの方向に気を付けながら、字全体のバランスをしっかりと見ているのびと書けています。

町の人口と世帯数

平成23年6月30日
(前年同月比較)

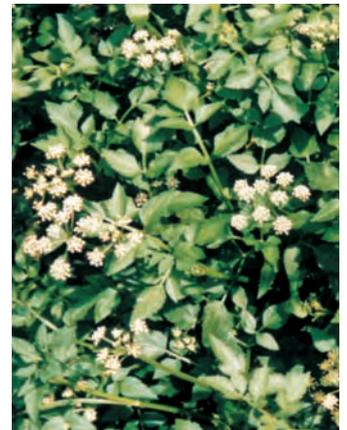


(住民基本台帳)

熊野の自然 (263)

セリ

(セリ科)



暑い盛り、緑の中の白い花には清涼感があります。

春の七草で有名なセリは、爽やかな味と香り、シャキシャキした歯触りが好まれ、お浸し、和え物、鍋物などに賞用されています。葉や茎だけでなく根も食べられます。古くから食用とされ、「古事記」や「万葉集」などにも出ています。

春のセリが一番ですが、この頃間違える恐れがあるのは、有毒のキンポウゲ科キツネノボタンなどです。セリの芳香はないので匂いを確認するといいでしょう。栽培の歴史も古く、927年の「延喜式」に記載があります。数少ない日本原産の野菜の一つです。

日本全国の水田、湿地、

溝などに生える無毛の多年草で、高さは20〜50cmほど。葉は互生し、1〜2回羽状に分かれ、粗い鋸歯があります。地下茎を伸ばして繁殖します。密集している様子が競り合っているように名が付いたと言われます。花は7〜8月頃枝先に咲きます。5弁の小さな花が傘形の集団をつくり、それが集まって全体として直径3〜5cmの集団となります。果実は無毛、楕円形で長さ約3mm。2本の長い雌しべが残っています。果実はセリ科の分類で重要です。セリ科植物は世界に3千種、日本に75種。熊野町では現在13種記録しています。

【写真・文】

緑花文化士 富沢由美子

東日本大震災の義援金については、これまで多くの皆さんにご協力いただき多額の義援金を送ることができました。大震災から4ヶ月が過ぎ、皆さんからの個人的な義援金は、町内の各自治会を通じて届けられるなどにより、当初の目的が果たされ、現在、公民館などの公共施設に設置している義援金箱に届けられる義援金は少なくなってきました。このようなことから、また管理上の面からも、公共施設での義援金箱による受け付けは、8月12日(金)で終了させていただきます。皆様のご協力ありがとうございました。

なお、熊野町社会福祉協議会では引き続き義援金を受け付けています。

(政策企画課)